



平成28年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日
東

上場会社名 株式会社クラレ 上場取引所
 コード番号 3405 URL <http://www.kuraray.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 井出 章子 (TEL) 03-6701-1070
 I R・広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第3四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第3四半期	360,787	△7.9	52,562	6.6	51,682	6.2	34,352	7.8
27年12月期第3四半期	391,905	—	49,308	—	48,686	—	31,858	—

(注) 包括利益 28年12月期第3四半期 △2,937百万円(—%) 27年12月期第3四半期 26,870百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第3四半期	97.78	97.60
27年12月期第3四半期	90.77	90.52

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第3四半期	660,131	485,471	72.3
27年12月期	701,770	503,589	70.7

(参考) 自己資本 28年12月期第3四半期 477,522百万円 27年12月期 496,062百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	18.00	—	22.00	40.00
28年12月期	—	20.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	△4.2	70,000	5.9	68,000	5.4	40,000	11.9	113.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期3Q	354,863,603株	27年12月期	354,863,603株
② 期末自己株式数	28年12月期3Q	3,486,599株	27年12月期	3,658,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期3Q	351,325,829株	27年12月期3Q	350,961,019株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2016年1月1日～2016年9月30日)における経営環境は、日本では個人消費の停滞に期初からの円高なども加わり、国内景気は足踏み状態が続きました。世界経済では、米国の景気は個人消費に加え輸出が牽引し順調に推移しました。欧州は緩やかな景気回復が続きました。なお、英国が欧州連合からの離脱を選択したことで先行きに不透明感はあるものの、足もとでは大きな影響はありませんでした。中国経済は政府の消費刺激策が功を奏し、景気の減速に歯止めがかかりました。新興国経済は一部を除いて景気減速が継続しました。

このような状況において、当社グループは「世界に存在感を示す高収益スペシャリティ化学企業」を実現すべく、2015年度よりスタートした中期経営計画「GS-STEP」において掲げた経営戦略を順次実行しています。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は前年同期比31,117百万円(7.9%)減の360,787百万円、営業利益は3,254百万円(6.6%)増の52,562百万円、経常利益は2,996百万円(6.2%)増の51,682百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,494百万円(7.8%)増の34,352百万円となりました。

[ビニルアセテート]

当セグメントの売上高は190,599百万円(前年同期比8.3%減)、営業利益は45,012百万円(同8.8%増)となりました。

- ① ポパール樹脂は米国新プラントの運転当初のトラブルもあって、償却費等を吸収できませんでした。光学用ポパールフィルムは液晶パネルの生産調整が一段落し、販売量に回復の兆しがみえました。水溶性ポパールフィルムは堅調に推移しました。PVBフィルムは引き続き好調に推移しました。
- ② EVOH樹脂<エパール>は、自動車ガソリントラック用途、食品包装用途ともに好調が継続しました。

[イソプレン]

当セグメントの売上高は38,419百万円(前年同期比7.7%減)、営業利益は5,520百万円(同0.7%増)となりました。

- ① イソプレン関連では、ファインケミカル、熱可塑性エラストマー<セプトン>及び液状ゴムは堅調に推移しました。
- ② 耐熱性ポリアミド樹脂<ジェネスタ>は、自動車用途が拡大を続け、コネクタ用途は回復してきました。一方で、LED反射板用途は苦戦が続いています。

[機能材料]

当セグメントの売上高は38,595百万円(前年同期比8.6%減)、営業利益は3,471百万円(同17.6%減)となりました。

- ① メタクリルは、市況の悪化の影響を受けていたモノマー及び一部樹脂用途の需要に回復の兆しがみえました。
- ② メディカルは、歯科材料が新製品の拡充に加え、販売面で事業統合によるシナジー効果が増大し好調に推移しました。
- ③ 人工皮革<クラリーノ>は、為替の円高影響が顕在化しました。

[繊維]

当セグメントはビニロンの高付加価値用途の販売増に加えて、生活資材もクラフレックスを中心に順調に推移した結果、売上高は35,474百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は4,677百万円(同56.1%増)となりました。

[トレーディング]

化学品関連事業は堅調に推移したものの、繊維関連事業は低調な国内需要の影響を受けました。この結果、売上高は87,257百万円(前年同期比1.7%減)、営業利益は2,634百万円(同4.4%減)となりました。

[その他]

その他事業は、第1四半期連結会計期間にエネルギー材料事業が加わったことにより開発費が増加しました。この結果、売上高は46,569百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益は1,356百万円(同21.7%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年8月4日に公表しました連結業績予想については見直しの結果、現時点では変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

1. 企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2013年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 2013年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 2013年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更し
ました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定によ
る取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に
変更します。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っ
ています。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連
結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っています。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及
び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時
点から将来にわたって適用しています。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

2. 税制改正に係る減価償却方法の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報
告第32号 2016年6月17日)を第2四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した構築物に係る減
価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える
影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,996	39,339
受取手形及び売掛金	102,079	99,121
有価証券	18,805	33,045
商品及び製品	77,582	71,472
仕掛品	11,293	11,412
原材料及び貯蔵品	23,310	22,532
繰延税金資産	7,598	7,210
その他	19,430	10,202
貸倒引当金	△611	△447
流動資産合計	296,486	293,889
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,959	53,629
機械装置及び運搬具(純額)	127,962	148,287
土地	18,508	19,179
建設仮勘定	56,609	26,188
その他(純額)	4,978	4,752
有形固定資産合計	262,019	252,036
無形固定資産		
のれん	28,564	23,833
顧客関係資産	32,244	25,658
その他	23,167	20,408
無形固定資産合計	83,976	69,900
投資その他の資産		
投資有価証券	46,057	29,756
長期貸付金	239	258
退職給付に係る資産	791	1,013
繰延税金資産	6,361	6,618
その他	5,887	6,703
貸倒引当金	△50	△45
投資その他の資産合計	59,287	44,304
固定資産合計	405,284	366,241
資産合計	701,770	660,131

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,331	30,247
短期借入金	7,187	7,783
未払費用	10,468	10,070
未払法人税等	14,692	5,972
賞与引当金	5,259	7,852
その他の引当金	31	6
その他	19,480	15,747
流動負債合計	95,450	77,681
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	42,257	42,174
繰延税金負債	24,102	20,539
役員退職慰労引当金	185	193
環境対策引当金	353	351
退職給付に係る負債	11,247	10,006
資産除去債務	3,615	3,326
その他	10,966	10,385
固定負債合計	102,729	96,978
負債合計	198,180	174,659
純資産の部		
株主資本		
資本金	88,955	88,955
資本剰余金	87,147	87,160
利益剰余金	278,899	298,230
自己株式	△4,319	△4,117
株主資本合計	450,682	470,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,808	7,899
繰延ヘッジ損益	△4	△20
為替換算調整勘定	39,377	3,546
退職給付に係る調整累計額	△4,801	△4,132
その他の包括利益累計額合計	45,380	7,293
新株予約権	831	750
非支配株主持分	6,695	7,197
純資産合計	503,589	485,471
負債純資産合計	701,770	660,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
売上高	391,905	360,787
売上原価	267,280	234,581
売上総利益	124,624	126,206
販売費及び一般管理費		
販売費	20,168	19,992
一般管理費	55,147	53,650
販売費及び一般管理費合計	75,316	73,643
営業利益	49,308	52,562
営業外収益		
受取利息	179	169
受取配当金	2,392	2,491
持分法による投資利益	2	12
その他	837	1,362
営業外収益合計	3,411	4,035
営業外費用		
支払利息	545	587
その他	3,487	4,328
営業外費用合計	4,033	4,915
経常利益	48,686	51,682
特別利益		
固定資産売却益	278	—
特別利益合計	278	—
特別損失		
固定資産廃棄損	267	—
投資有価証券評価損	195	—
特別損失合計	463	—
税金等調整前四半期純利益	48,501	51,682
法人税、住民税及び事業税	16,987	16,345
法人税等調整額	△884	289
法人税等合計	16,102	16,635
四半期純利益	32,398	35,047
非支配株主に帰属する四半期純利益	540	694
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,858	34,352

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	32,398	35,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,015	△2,909
繰延ヘッジ損益	△71	△15
為替換算調整勘定	△6,847	△35,729
退職給付に係る調整額	374	669
その他の包括利益合計	△5,528	△37,984
四半期包括利益	26,870	△2,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,329	△3,631
非支配株主に係る四半期包括利益	541	693

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)	
当社のベルギー子会社が過年度に適用を受けていたベルギー税法における優遇税制について、2016年1月に、欧州委員会が当該税制は違法な国庫補助であると決定し、ベルギー政府に対して当該税制により免除された税額について追徴課税を行うよう命令を下しました。当該決定に対して、ベルギー政府はすでに取消の訴訟を提起していましたが、ベルギー子会社も2016年7月に取消の訴訟を提起しました。	
なお、2015年度に、ベルギー子会社において追徴課税が見込まれる税額2,994百万円に最終的な税負担リスク割合を勘案して見積もった額を計上しています。	

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第3四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	184,356	24,119	28,858	26,139	87,165	350,639	41,266	391,905	—	391,905
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	23,474	17,525	13,365	8,159	1,631	64,155	10,502	74,657	△74,657	—
計	207,831	41,644	42,223	34,299	88,796	414,794	51,768	466,562	△74,657	391,905
セグメント利益	41,375	5,480	4,214	2,996	2,756	56,823	1,731	58,555	△9,247	49,308

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△9,247百万円には、セグメント間取引消去1,298百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△10,545百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II. 当第3四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ビニリア セテート	イソプ レン	機能材料	繊維	トレーデ ィング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	168,860	20,832	25,144	27,128	85,068	327,034	33,753	360,787	—	360,787
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	21,739	17,586	13,451	8,345	2,189	63,312	12,815	76,128	△76,128	—
計	190,599	38,419	38,595	35,474	87,257	390,347	46,569	436,916	△76,128	360,787
セグメント利益	45,012	5,520	3,471	4,677	2,634	61,316	1,356	62,673	△10,110	52,562

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、活性炭事業、アクア事業、エンジニアリング事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△10,110百万円には、セグメント間取引消去1,195百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△11,305百万円を含んでいます。全社費用の主なものは、提出会社の基礎研究費、本社管理部門費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。